



# 本町ほのぼののだより 第19号

発行：中野区立本町図書館 中野区本町2丁目13番2号 TEL 03-3373-1666

発行年月日：平成26年6月28日 第19号

第19回 本町図書館 個性づくりテーマ展示

## サブカルチャーを知りたくて

本町図書館では、『文化・芸術・芸能』に関する資料を、絵画や音楽、工芸、伝統芸能など幅広い分野にわたって収集・展示をしております。

第19回目となる今回は、サブカルチャーを取り上げます。

中野ブロードウェイを擁する中野区はサブカルチャーの街と言われています。中野ブロードウェイはサブカルチャーの聖地として、国内外で有名です。しかし、サブカルチャーと一口にいいますが、なんのことでしょうか？よく聞く単語ですが、漫画やアニメなどの文化を指すのでしょうか？いえいえ、漫画やアニメだけではないのです。そこで今回は、サブカルチャーの歴史や著名人を紹介します。取り上げたサブカルチャーはほんの一部ですが、皆さんにもっとサブカルチャーを知ってもらえたらと思います。

**展示場所：本町図書館 2階書架**

**展示期間：平成26年6月28日(土) ～ 8月28日(木)**

※ 展示資料は貸出もできます。



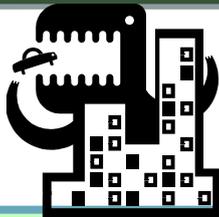
## サブカルチャーとは？

サブカルチャーとは一体何か。もともとは 20 世紀前半、シカゴ大学社会学部(シカゴ学派)の研究者達によって使われ始めた学術的用語でした。欧米においては階層、階級がはっきりしており、サブカルチャーは細分化された各社会階層集団内で共有される価値観や世界観、行動様式の意味合いで使われます。日本では「下位文化」と訳されますが、「階層文化」と呼ぶ方が適しています。ちなみに、価値の序列を表す差別的ニュアンスは含まれません。

60年代、アメリカでは反戦運動、学園闘争がおこり、サブカルチャーは若者が文化的活動を通し体制に異議申し立てを行った「カウンター・カルチャー(対抗文化)」と同義になります。日本でも同様の社会問題が起こり、文化を通しての活動が行われましたが、サブカルチャーと言う言葉が日本に輸入されるのは 80 年代に入ってからのことです。また、意味合いにおいても欧米とは異なります。欧米ではサブカルチャーはある「集団」を指していますが、日本では漫画、アニメ、大衆音楽、映画、雑誌等、メディアやその消費者に対して使われます。また、絵画、美術、クラシック音楽等の「ハイカルチャー」との対比で使われます。しかし、近年ではハイの経済的理由からもサブを取り込み、サブに接近し、また逆に、サブの一般的受容度合いが高くなり、両者の境界線はあいまいになってきています。

そのため、サブカルチャーはかなり広範囲に渡っています。人によって、時代によって捉え方や指すものは様々で、「サブカル」と短略化して呼ばれジャンル化されていますが、分かり難くなっています。そこで単純に、「ハイ」以外の文化は「サブ」と捉えた方が分かり易くていいのかもしれませんが、さて、アナタにとってのサブカルチャーは何ですか？

60



ここから 60 年代から 80 年代までのサブカルチャーを見ますが、広範囲のため各時代のほんの一部となります。また、時代ごとに区切れるのではなく、時代をまたいで次の時代に繋がっていきます。

60 年代は政治の季節と呼ばれ、体制に対する対抗意識が強く打ち出された文化が目立ちます。音楽では反戦、反権力等の社会運動で「フォークソング」がはやり、フォークゲリラが毎週土曜、新宿西口で行われました。映画では大島渚、吉田喜重、篠田正浩等の監督が、安保闘争と伴走する形で「松竹ヌーヴェルヴァーグ」と呼ばれ支持を集めます。また、別の流れでアンダーグラウンド映画(実験映画・記録映画等)や、ピンク映画、娯楽映画では「ヤクザ映画」が人気を集めました。当時、アンクラ演劇も台頭し「状況劇場」「天井桟敷」「早稲田小劇場」「黒テント」がアンクラ四天王として活動していました。雑誌では「平凡パンチ」、漫画雑誌では「ガロ」が創刊されました。60 年代は時代の躍動感、緊張感がサブカルチャーを作り出していました。



70

70 年代になると政治の季節は終焉します。反体制と言う対抗軸を失ったサブカルチャーは商業化され、ロックとコミックが 70 年代を先導します。雑誌では女性誌の「an・an」「non・no」が創刊され、アンノン族と呼ばれる女性が登場します。また、マニュアル誌へ装いを変えた「ポパイ」が創刊されます。その他 70 年代で特筆すべき出来事は「宇宙船鑑ヤマト」の劇場公開です。

日本初のアニメ映画でありアニメフームの先駆けとなりました。そして、「OUT」「アニメージュ」等のアニメ専門雑誌が創刊されました。ゲームでは「インベーダーゲーム」がヒットし、その後続々とゲームが世に出てきます。また、ユリゲラーの来日で「超能力、オカルト」フームも起こりました。



80年代になりサブカルチャーは、確実に消費文化に飲み込まれ、企業資本に組み込まれました。

中でも、「西武・パルコ」の文化戦略は外せないでしょう。地勢的にもこれまで新宿がサブカルチャーの中心でしたが、渋谷、原宿へと移っていきます。そして80年代は、70年代の暗さを壊し、70年代への対抗として起こった「ニューウェーブ」と呼ばれる音楽のカテゴリーが文化全域に影響を与えました。音楽では「YMO」に代表的されるテクノやパンクが流行りました。そしてバンドブームが起こりインディーズシーンも盛り上がります。芝居では「ラジカル・カジベリピンバ・システム」など新しい笑いを追及する集団が登場します。アニメでは大友克洋の「アキラ」、糸井重里のコピーで「おいしい生活」、雑誌「SPA」創刊、浅田彰・中沢新一等の「ニューアカテミスム」等が登場します。80年代サブカルチャーは「軽く」ジャンルを越境し、「おしゃれ」に「かっこよく」消費されていきました。



ここでは1990年から2000年までのサブカルチャーに起きた、大きな出来事をジャンルごとに紹介をしていきます。

90

### ★マンガの世界★

①「週刊少年ジャンプ」の隆盛  
→91年に618万部を突破する。

②少女マンガの衰退

→主人公が「か弱い乙女」から「自立した女性」へ変化する。岡崎京子や安野モヨコなど女性の競争心や虚栄心を生々しく描く作家が登場した。

③ジャンルの多様化

→オカルト、グロなどメジャー誌で扱わない作品を集めた雑誌が注目される。  
（「アックス」、「ガロ」など）

### ★アニメの世界★

①「美少女戦士セーラームーン」(92)、「新世紀エヴァンゲリオン」(95)とメガヒット作品が生まれる。

②スタジオジブリ製作長編アニメーション映画「もののけ姫」(97)が国内の芸術賞や映画賞で高評価を受け、日本アニメが海外からも注目を浴びるようになる。

③ジャンルの多様化→「子ども向け」だけでなく、大人の視聴に耐えうる作品が現れる。

### ★音楽の世界★

①大型外資系レコード店、タワーレコードやHMVなどが続々と上陸する(90年代前半)。

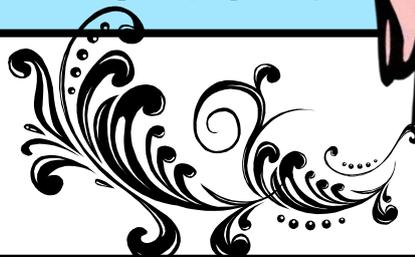
②バンドブーム→X JAPAN (エックスジャパン) や GLAY (グレイ) がデビューした(89~94)。

③インターネットの普及→動画サイトやホームページは、気軽に作品を発表できる場となった。

### ★映画の世界★

日本映画の地位向上

海外映画から影響を受けた北野武や塚本晋也などの作品が、海外から注目される。



## ★2000年以降の展望 もはや「サブ」ではない！？ 世界へ発信される日本の文化★

日本のサブカルチャーはどの分野をとっても世界から評価されています。一方で、表現や描写を規制する法案が出るなど国をあげての大きな動きとなってきています。メインカルチャーの定義を社会から支持や批判を大きく受けるものとするなら、サブカルチャーと考えられていたものは、もはや「サブ」の存在ではなくなっているのかもしれませんが。

参考文献：『サブカルチャー世界遺産』扶桑社 サブカルチャー世界遺産選定/編 704 サ 中央図書館所蔵

『ライトノベル「超」入門』ソフトバンククリエイティブ 新城カズマ/著 910.26 シ 本町図書館所蔵

『カルチュラル・スタディーズ』講談社 吉見俊哉/編 361.5 カ 本町図書館所蔵

『日本的想像力の未来』日本放送出版協会 東浩紀/編 361.5 ニ 中央・江古田図書館所蔵

『東京大学「80年代地下文化論」講義』白夜書房 宮沢章夫/著 361.5 ミ 鷺宮図書館所蔵

# 中野ブロードウェイ



中野ブロードウェイといえば、「サブカルチャーの聖地」として有名です。しかし、最初からサブカルチャーの聖地を意識して建てられた施設ではありません。

中野ブロードウェイの創業は1966年です。アメリカのショッピングセンター方式を取り入れ、当時の日本では珍しい商業住居複合施設として建てられました。地下3階、地上10階の建物の上層階は、高級マンションとして知られ、著名人も居を構えていました。

例えば、元東京都知事の青島幸男、歌手の沢田研二などのセレブが住んでいました。また、コンサート会場としても使われ、三波春夫やティック・ミネなどが来館しました。

1980年の「まんだらけ」開業後は、雰囲気が一変します。漫画・アニメの愛好家が大勢やってきて、サブカルチャーのイメージが強くなります。現在、まんだらけのほか、村上隆のお店などが営業中です。一方で、地下と1階は昔ながらの商店街として機能しています。中野ブロードウェイは、サブカルチャーのお店だけではなく、地元住民の為のお店も運営しているのです。

写真提供：中野ブロードウェイ商店街振興組合事務局

参考文献：『中野Walker』角川マガジズ N64 A 本町図書館所蔵

『東京人 2013年6月増刊号』都市出版株式会社 N64 A 本町図書館所蔵

# 中野ゆかりのサブカルチャーの著名人・文化人

最近では、サブカルチャーの知識を活かして活躍される方をよくみかけるようになりました。  
ここでは中野とゆかりの深い著名人の方々ととりあげて紹介します。

## 中川 翔子(タレント)

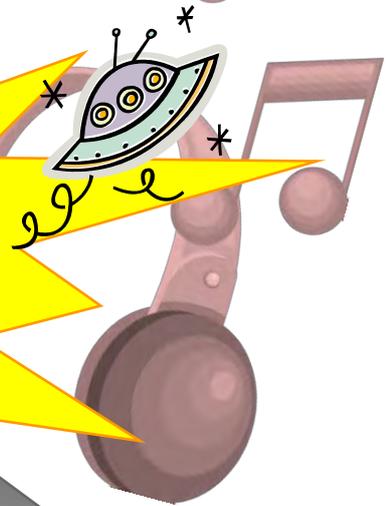
自身の生活をつづった「しょこたん♥ぶろぐ」を開設してから人気を集めており、女優、歌手、声優として多方面で活躍されています。

中野フロードウェイには、コレクションのために訪れるだけでなく、飼っている猫の名前をつけた、ファッションブランド「mmfs(ママタス)」を出店しています。



## 大槻 ケンチ(ミュージシャン)

中野区出身。1982年、高校生の時にバンド「筋肉少女帯」を結成し、芸能界デビューしました。その後、新バンド「特撮」の活動の他にUFOや映画などサブカルチャーの知識を活かし、作家やコメンテーターとしても活動しています。



## さいとう・たかを(漫画家)

特徴を誇張して描く技法(ディフォルメ)が主流であった漫画界に、写実的に描く「劇画」という表現を生み出し、後に続く漫画家の作風に影響を与えることになりました。代表作である「ゴルゴ13」でも、その時々時事ネタを話に盛り込み、とことんリアルを描くこだわりをみせています。スタジオが中野区にあります。



## 村上 隆(芸術家)

アニメから影響を受けたポップな作品は、日本だけでなく、ニューヨークやパリなど世界中で高い評価を受けています。芸術集団「カイカイキキ」と共に、中野フロードウェイにコンセプトカフェをオープンするなど意欲的な活動をしています。



参考文献:「hon.min 列伝」吉田豪/著 太田出版 778.21 ヨ 本町図書館所蔵

「サブカルで食う」大槻ケンチ/著 白夜書房 767.8 オ 本町図書館所蔵

「俺の後ろに立つな」さいとうたかを/著 新潮社 726.1 サ 中央図書館所蔵

「村上隆完全読本美術手帖全記事 1992-2012」村上隆/著 美術出版社 702.1 ム 本町図書館所蔵



# 展示図書リスト

書名	著者	出版者	出版年	分類記号
人間コク宝 サブカル伝	吉田豪著	コアマガジン	2014	361.5 ヨ
そろそろ日本の全世代についてまとめておこうか。	田中稲著	青月社	2014	361.6 タ
バットマンは飛べるが着地できない	木野仁著	彩図社	2014	420.4 キ
のせすぎ！中野フロードウェイ	NBW友の会編	辰巳出版	2009	672.1 /
村上隆完全読本美術手帖全記事 1992-2012	村上隆著	美術出版社	2012	702.1 ム
人間コク宝 まんが道	吉田豪著	コアマガジン	2012	726.1 ヨ
初音ミクはなぜ世界を変えたのか？	柴那典著	太田出版	2014	763.9 シ
筋肉少女帯自伝	大槻ケンヂほか著	K&Bパブリッシャーズ	2007	764.7 キ
サブカルで食う	大槻ケンヂ著	白夜書房	2012	767.8 オ
六〇年代演劇再考	岡室美奈子編	水声社	2012	772.1 ロ
トラック野郎浪漫アルバム	杉作J太郎編	徳間書店	2014	778.2 ト
どうして人はキスをしたくなるんだろう？	みうらじゅんほか著	集英社	2013	914.6 ミウ

## サブカルチャーについて調べてみよう！

サブカルチャーは奥深い世界。今回展示している図書のほかに、サブカルチャーに関する図書はたくさんあります。また、図書のほかに、雑誌記事、新聞などでも調べられます。いろいろな情報源を使って、調べてみましょう。

### 1. キーワードを使って調べよう

次のキーワードを参考に、「サブカルチャー」について調べよう。

社会科学	オタク	マンガ	アニメーション	娯楽	大衆(社会学)
ポストモダニズム	人文科学	風俗	同人誌	出版	ファッション

### 2. 基本的な情報源を使って調べよう

辞書・事典類を使って、テーマについての基本的な事柄を押さえよう。

書名	請求記号	所蔵館
現代用語の基礎知識 2014	031 ケ 14	[本町図書館なし]中央図書館所蔵
現代用語の基礎知識 2010	031 ケ 06	本町図書館所蔵

### 3. 図書を探そう

図書館では、関連分野ごとに図書が並んでいる。[テーマの棚]を実際に見て、図書を探そう。

雑著	049	ポストモダニズム	361.5	マンガ	726.1
音楽	760	アニメーション	778.77	映画	778

図書館のホームページやOPACを使って、図書を探そう。



[中野区内に図書があるか]

●中野区立図書館ホームページを使って調べよう。

→ <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/index.html>

[東京都内に図書があるか]

●東京都立図書館のホームページを使って調べよう。

→ <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

[国内に図書があるか]

●国立国会図書館のホームページを使って調べよう。

→ <http://www.ndl.go.jp/>



### 4. 雑誌・新聞記事を探そう

●中野区立図書館で所蔵している主な雑誌

タイトル	所蔵館
映画秘宝	本町図書館所蔵
CUT(カット)	本町・鷺宮図書館所蔵

●中央図書館参考室の雑誌新聞記事索引データベースを使って調べよう

日経テレコン21	1975年からの日経4紙(経済・産業・金融・流通)の新聞全文や企業情報などが検索可能。
聞蔵IIビジュアル	朝日新聞のほか、知恵蔵・AERAなどが検索可能。
MAGAZINE PLUS	雑誌記事や論文情報検索が可能。
WHO PLUS	歴史上の人物から存命中の人物について検索可能。
官報情報検索サービス	1947年から当日までの官報が検索可能。
D1-Law.com	判例などの法律情報が検索可能。

### 5. インターネットを使って調べよう

京都国際マンガミュージアム

〒604-0846 京都市中京区烏丸通御池上ル

075-254-7414 HPアドレス <http://www.kyotomm.jp>

### 6. 関連機関を調べよう

文化庁

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

03-5253-4111 HPアドレス <http://www.bunka.go.jp>





# 本町図書館からのお知らせ

本町図書館個性づくり展示「サブカルチャーを知りたくて」はお楽しみいただけましたでしょうか。これからもみなさまの身近にある、お役に立つ図書館、新しい発見のある図書館を目指して、スタッフ一同取り組んでまいります。

## ☆個性づくり展示☆

- |          |            |
|----------|------------|
| 第一回・岡本太郎 | 第十回・工芸     |
| 第二回・落語   | 第十一回・歌謡曲   |
| 第三回・映画   | 第十二回・美術館   |
| 第四回・伝統工芸 | 第十三回・仏像    |
| 第五回・音楽   | 第十四回・茶道ほか  |
| 第六回・デザイン | 第十五回・歌舞伎   |
| 第七回・浮世絵  | 第十六回・手紙    |
| 第八回・舞台   | 第十七回・表現する人 |
| 第九回・ジブリ  | 第十八回・建築    |

## ☆おはなし会☆

毎週土曜日 11:00~11:30  
第4水曜日 15:30~16:00  
児童室にて開催中！  
第4土曜日は乳幼児向けの  
「おひざでだっこのおはなし会」

児童コーナー  
7月5日(土)  
たなばた会  
11:00~12:00

8月2日(土)  
戦争と平和を考える子ども会  
11:00~12:00

第十五回~第十八回の  
個性づくりの本は  
展示してあります。

## ☆7月・8月の休館日のご案内☆

<7月>  
14日の月曜日  
25日(金)・館内整理日  
<8月>  
11日の月曜日  
29日(金)・館内整理日



「本町ほのほのだより」  
第20号は8月30日  
発行予定です。

